

二輪車向けの最高出力測定法について

1. 背景

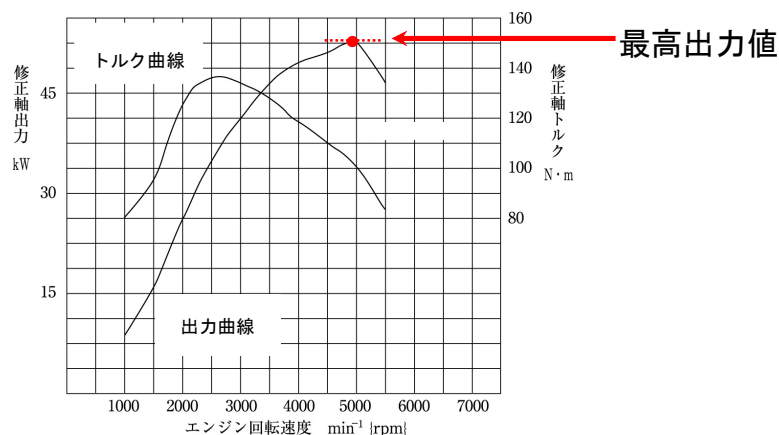
- 現在、国連自動車基準調和世界フォーラム(WP. 29)傘下の専門家会議において、二輪車向けの最高出力の測定法が議論されているところ。
- 他方で国内的に、最高出力が一定値以下の内燃機関を有する原動機付き自転車をより幅広く利用可能とするための環境整備の要望が挙げられている。

2. 今後の対応（案）

- 国連基準として策定する二輪車向けの最高出力測定法について、国内において型式認証を行う場合の内燃機関車向けに規定され、型式認証車以外にも適用することが適当な「審査事務規程の測定法(※)」を国際的な測定法とするべく、今後、WP. 29 傘下の専門家会議において提案する。

※道路運送車両法の指定に基づき安全・環境基準適合性の審査等を行う（独）自動車技術総合機構の審査事務規程別添1 試験規程詳細 TRIAS 99-016-01

(<https://www.naltec.go.jp/publication/regulation/fkoifn00000001jx-att/fkoifn0000000ysj.pdf>)



＜出力曲線イメージ図＞

- 当該「審査事務規程の測定法」は、他国等においても用いられている任意規格（ISO4106）の測定法とも大きな相違はなく、国連基準のベースとなることが見込まれる。
- このため、今後のより幅広く原動機付き自転車を利用可能とするための環境整備の検討においても、当該「審査事務規程の測定法」を用いる。